

人類に重大な脅威をもたらした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2021年も大きな課題となることは間違いない。日本に新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）が上陸してほぼ1年で、さまざまなエビデンスが蓄積できワクチン接種までこぎつけた一方で、未解明な部分がある。また、専門家の中でも見解が分かれることも多い。そこで5人の専門家にCOVID-19に関する基本的な疑問を個々にインタビュー、テーマごとに編集し、3回にわたって掲載する。複眼的な視点がCOVID-19の実像をつかむ一助となるだろう。（インタビュー内容は2020年12月上旬時点のもの）（関連記事「[第三波は乗り切れるか—5人の見解](#)」「[専門家5人が考える"終息の日"](#)」）

解説者（五十音順）

神戸大学大学院微生物感染症学講座教授・岩田健太郎氏

福岡看護大学基礎・基礎看護部門教授・岡田賢司氏

国際医療福祉大学医療経営管理分野教授・高橋 泰氏

東邦大学大学院微生物・感染症学講座教授・舘田一博氏

京都大学大学院環境衛生学教授・西浦 博氏

全テーマ

（上）SARS-CoV-2をどう理解すればいいか

第一波への政府の対応は適切だったのか

（中）第三波をどう乗り切るか

2020+1 東京オリンピック・パラリンピックは開催できるか

<https://medical-tribune.co.jp/rensai/2021/0104534145/>

（下）日本で感染者・死亡者が少ない理由とは

終息する日はいつくるのか

<https://medical-tribune.co.jp/rensai/2021/0105534146/>

以下省略

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/10090-covid19-30.html>

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/covid19-30-210102.pdf> PDF版

感染性の増加が懸念される SARS-CoV-2 新規変異株について（第4報）

国立感染症研究所

2021年1月2日15:00時点

要約

- ・ SARS-CoV-2 新規変異株 VOC-202012/01 と 501Y.V2 について、感染性の増加が懸念されている。
- ・ VOC-202012/01 は英国で増加を認め、各種の解析からも従来の流行株よりも感染性が増していることが示唆されているが、重篤な症状との関連は調査中である。また、世界各地で検出されつつある。
- ・ 501Y.V2 は、南アフリカで増加を認め、流行株における 501Y.V2 の占める割合が増加しているが、感染性の増加や重篤な症状との関連は調査中である。英国、スイス、フィンランドでも検出されている。
- ・ 国内では、2020年12月25日以降、英国や南アフリカ、アラブ首長国連邦を含む渡航歴がある者またはこれらの接触者から両変異株が検出されている。国内症例・検疫症例のウイルス遺伝子変異については継続して監視中である。
- ・ 感染拡大と VOC-202012/01 または 501Y.V2 の増加に関連性が認められる国・地域へ渡航歴のある者等の管理体制を強化するとともに、変異株の監視と情報収集を継続することを推奨。

以下省略

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/virology/10097-virology-2021-1.html?hitcount=0>

国立感染症研究所

Published: 2021年1月04日

感染性の増加が懸念される SARS-CoV-2 新規変異株 VOC-202012/01 の分離に成功

国立感染症研究所において、空港検疫により確認された新型コロナウイルス感染症の患者等の検体

を用いてウイルス分離試験を実施したところ、英国から報告された感染性の増加が懸念される SARS-CoV-2 新規変異株 VOC-202012/01 のウイルス分離に成功しました（写真：電子顕微鏡観察により確認されたウイルス粒子）。国立感染症研究所では、分離したウイルスを用いて、SARS-CoV-2 変異株 VOC-202012/01 の性状・病原性の解析およびウイルス検査法・抗ウイルス薬・ワクチンの研究開発を進めていきます。また、分離した変異株は、新型コロナウイルス対策に役立てるため国内外の研究機関等に広く配布する予定です。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/10098-covid19-31.html>

**SARS-CoV-2 新規変異株 (VOC-202012/01)の分与について**

国立感染症研究所

Published: 2021年1月04日

国立感染症研究所で分離された SARS-CoV-2 新規変異株(VOC-202012/01)を試験研究に利用する研究機関等へ分与することといたしました。

分与は、感染研病原体等安全管理規程による「病原体等の分与等に関する取扱要領」に書かれた手続きに従って行います。

注) 本ウイルスは四種病原体です。本ウイルスの取扱いについては **BSL3/ABSL3 施設が必要**となります。

**【病原体分与手続きについて】**

国立感染症研究所ホームページの以下の記事をご参照ください。

病原体分与に関する手続きについて

(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/lab/481-biosafe/7155-bunyo-shogai17.html>)

**【病原体の分与担当研究者】**

ウイルス第一部 部長 西條

電話：03-5285-1111（内線 2502）

**【事務担当】**

総務部調整課研究支援係

電話：03-5285-1111（内線 2040,2052）

メール：info@nih.go.jp